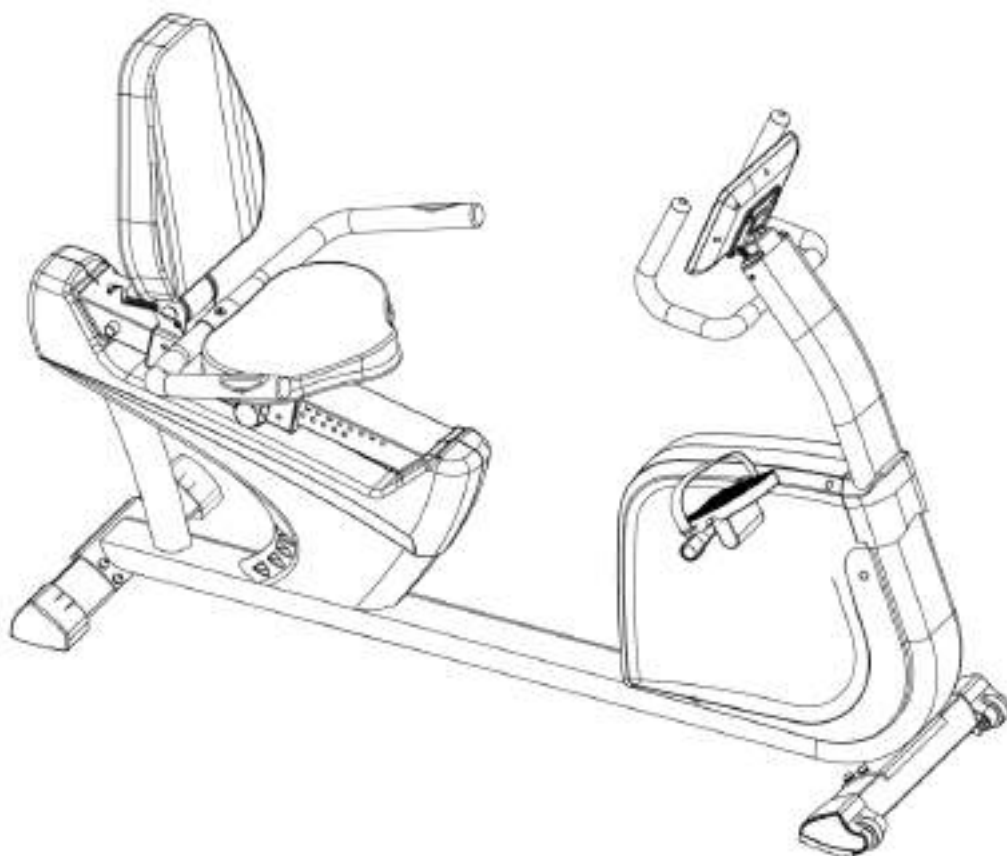


SFR-40 リカンベントバイク

取扱説明書



- この度は SFR-40 リカンベントバイクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は本製品の組み立て方法及びご使用方法とご使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
- お読みになった後もこの取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管してください。
本製品を譲渡される時はこの取扱説明書も一緒にお渡しください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社窓口までお問い合わせください。

目次

目次	2
安全にご使用いただくために	3 ~ 5
各部名称図	6
部品名称表	7
組み立て方法	8 ~ 13
各部の調整方法	14 ~ 15
メーターパネルの基本操作	16 ~ 17
マニュアルモード	18
プログラムモード/ユーザープログラムモード	19
ハートレート/ワットコントロールモード	20
体脂肪測定	21
リカバリー測定	22
メーターパネルの表示値について	23
トラブルシューティング	24
製品保証規定	25
メモ	26
製品保証書	27

安全にご使用いただくために

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や損害を事前の防止するためのものです。注意事項は危険及び損害の大きさや切迫感の程度を示すために、誤った使用方法によって起こり得る内容を「警告」、「危険」、「注意」に分類しています。

絵表示の例



警告

取扱を誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険が予想されることを表示しています。



注意

取扱を誤った場合、使用者が障害を負ったり、または物的損害が発生する危険が予想されることを表示しています。

運動の前後の注意事項

- 運動をする前に、必ずボルトやナットの締め具合を確認し、割れたり外れたりしているところがないかご確認ください。
- 急に過激な運動をすると心臓や筋肉に負担がかかりますので、準備運動を5～10分、クールダウン運動5～10分を行なってください。
- 運動前、運動中、運動後には十分に水分補給を行なってください。
- 運動中には絶対に呼吸を止めないでください。運動の強度に合わせて自然に呼吸してください。
- 運動前にアクセサリ類は全て外してください。
- 緩み過ぎないトレーニングウェアとランニングシューズを着用し、長い髪は束ねてから運動してください。

製品保管時の注意事項

- コンセントから電源コードを抜いてください。
- 長期間製品を使わない場合は特にご注意ください。
- いつも清潔なところに製品を保管してください。
- 製品のすべての表面、特に汗が付着したハンドル部やコントロールパネル、調節部などが濡れたり汚れた場合は乾いたタオルなどで拭きとってください。
- 保管または検査をする前には電源プラグを抜いてください。



警告

本取扱説明書及び常識的な安全上の注意を無視して発生した身体的・物質的損害に関しては一切責任を負いかねます。

安全にご使用いただくために



必ずお守りください

- 妊娠中、心臓障害、気管支系疾患、安静治療が必要な方など、疾患のある方は必ずお医者様へご相談いただくか使用をご遠慮ください。
- 身体の不自由な方がご使用になれる際は必ず保護者の監視のもとで行なってください。
- 本製品の使用時には必ず四方60cm以上十分な空間を維持してください。
- 運動中、身体に異常(立ちくらみ、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、寒気など)を感じたらすぐに運動を中止してください。健康に害を及ぼす恐れがあります。
- 転倒防止のため、使用中はハンドルをしっかり握ってください。
- 必ず付属のACアダプターを家庭用100Vでご使用ください。火災や感電の危険及び危機に異常をきたす恐れがあります。
- 保護者の方はお子様が本製品で遊ばないように注意してください。怪我をする恐れがあります。

禁止

- お子様の手が届かない所で使用してください。回転するペダルに当たったり、運動されている方にぶつかったりすると危険です。
- 次のような状況では使用しないでください。
 1. 電熱器具や花き類のそばでは使用しないでください。
 2. 布団や繊維類の上では使用しないでください。
 3. 同じコンセントに他の電気装置を同時に繋いで使用しないでください。上記事項を守っていただかない場合、火災の危険及び器具にきたす恐れがあります。
- 製品が濡れていたり、水気のある状態では使用しないでください。感電など事故の恐れがあります。
- 使用中、周りの人が本製品や使用者を押しったり引いたりする行為はやめてください。事故や怪我をする恐れがあります。
- 本体、コンピューターパネルや部品が割れていたり、ボルトの締りが緩い状態、溶接部分が甘くなっている状態では使用しないでください。
- 製品の下に手足や身体の一部を入れないようにしてください。製品に手足を挟んで怪我をする恐れがあります。
- 濡れている手でコードを触らないようにしてください。感電など事故の恐れがあります。
- 本製品はぐらついたり、倒れたり、傾いたりしない安定した場所でご使用ください。



必ずお守りください

- 運動をするときは適切な服装とシューズを必ず着用してください。怪我をする恐れがあります。
- ご使用後またはお手入れや移動の前にはいつも電源プラグを抜いてください。事故の危険があります。



禁止

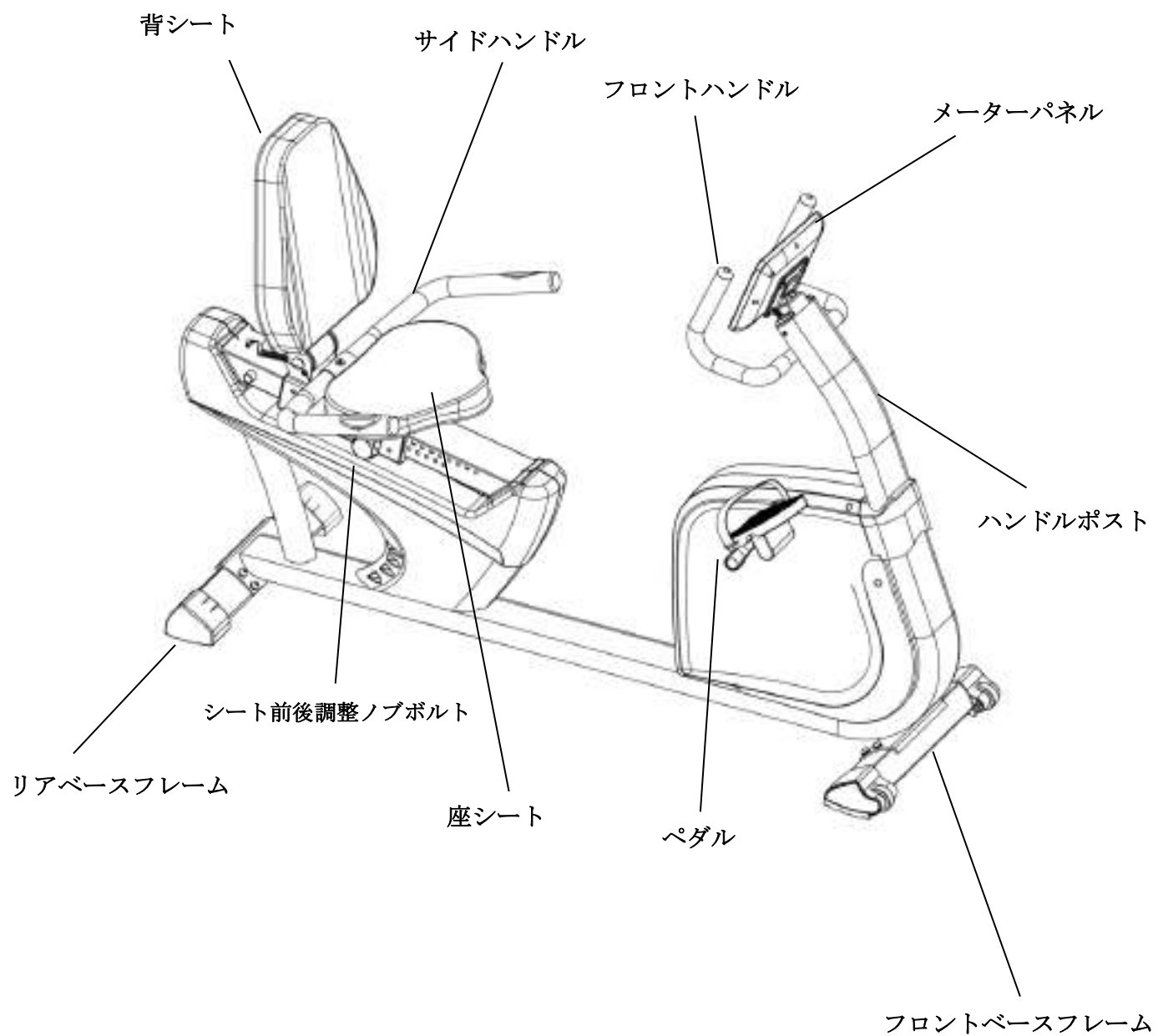
- 普段運動をしない方はいきなり過激な運動をしないでください。健康に害を及ぼす危険があります。
- 飲酒後や眠気を誘う薬物使用時などはご使用をおやめください。事故に繋がる恐れがあります。
- 電源プラグを刺した状態で長時間放置しないでください。故障及び電力消耗の原因となります。
- 製品を落として損傷がある状態や湿気に当てたりした場合は、ご使用をおやめください。事故の危険があります。
- 室外でのご使用はおやめください。製品寿命短縮の原因になります。
- 電源コードで製品を引いたりしないでください。故障の原因になります。
- 製品にある溝や穴に異物を入れないでください。故障の原因になります。
- ベランダに設置する場合は、必ず水平状態を確保してから雨風にさらされないようにしてください。



分解禁止

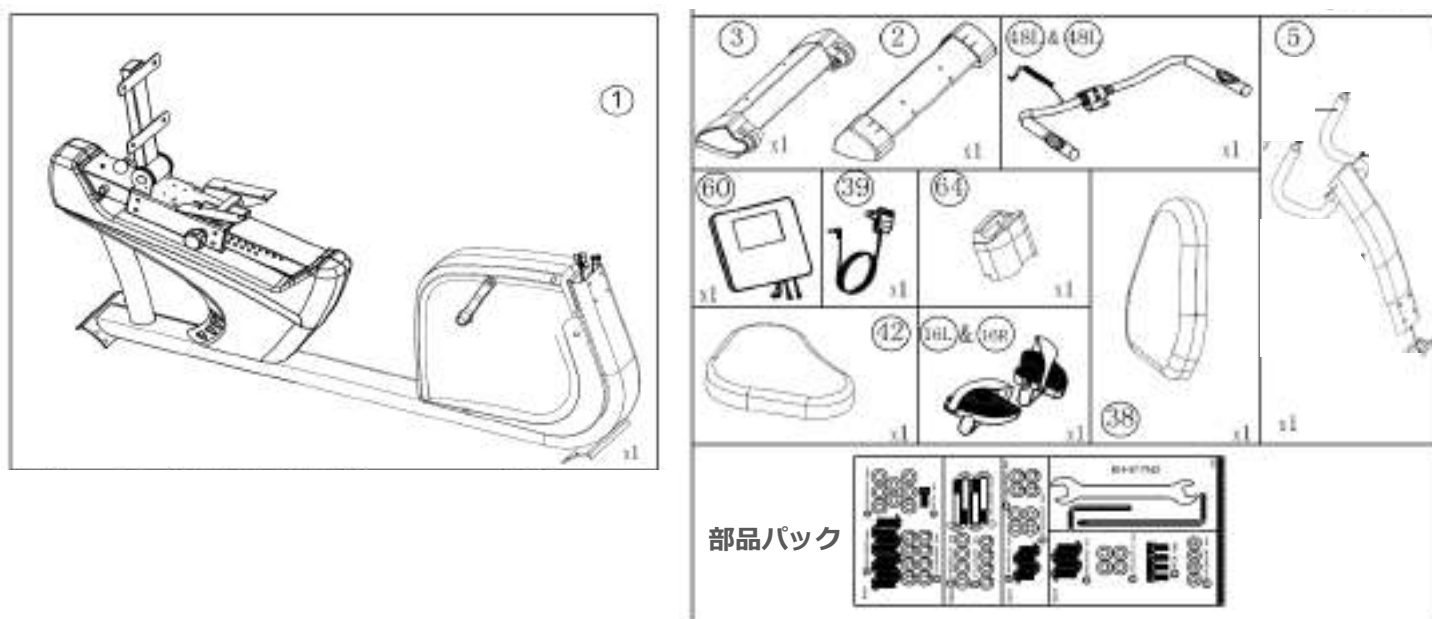
- 製品の分解、修理や改造は絶対に行わないでください。感電及び異常動作を起こし、事故の恐れがあります。修理が必要な場合は弊社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各部名称図



部品明細表

No.	名称	数量	No.	名称	数量
1	本体	1	61	ボルト M6×1×15L	5
2	リアベースフレーム	1	64	ハンドルポストカバー	1
3	フロントベースフレーム	1	76	メインケーブルコネクター	1
5	ハンドルポスト	1	98	パルスケーブルコネクター	1
7	スプリングワッシャーD15.4×D8.2×2T	16	108	平ワッシャー D14×D6.5×0.8T	4
8	ボルト M8×1.25×50L	4	(a)	メインケーブルコネクター	1
9	ボルト M8×1.25×20L	12	(b)	パルスケーブルコネクター	1
13	平ワッシャー D16×D8.5×1.2T	20			
14	ボルト M8×1.25×15L	4			
16R	ペダルベルトセット (右側)	1			
16L	ペダルベルトセット (左側)	1			
37	角度調整ピン	1			
38	背シート	1			
39	ACアダプター	1			
42	座シート	1			
46	パルスケーブルコネクター	1			
48R/48L	サイドハンドル	1			
49	ハンドパルスケーブル	1			
52	メインケーブルコネクター	1			
60	メーターパネル	1			



部品パック×1 組立に必要なボルト類が纏められたパックはわかりやすい様に、組立工程ごとに小分けしております。それぞれの部品セットは点線に沿ってカットしてください。

部品の紛失を防ぐため、組み立て方法ページのステップ数にしたがって、必要なセットだけを順番に空けて取り出すようにしてください。

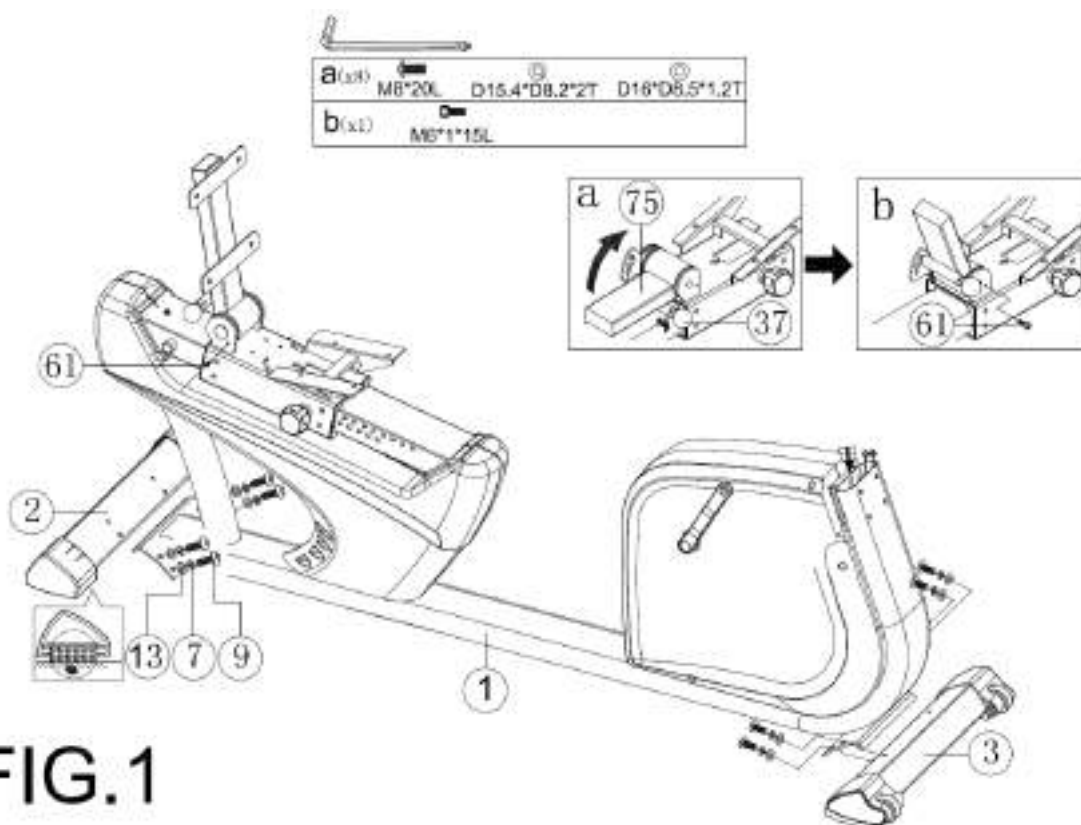
組み立て方法



注意

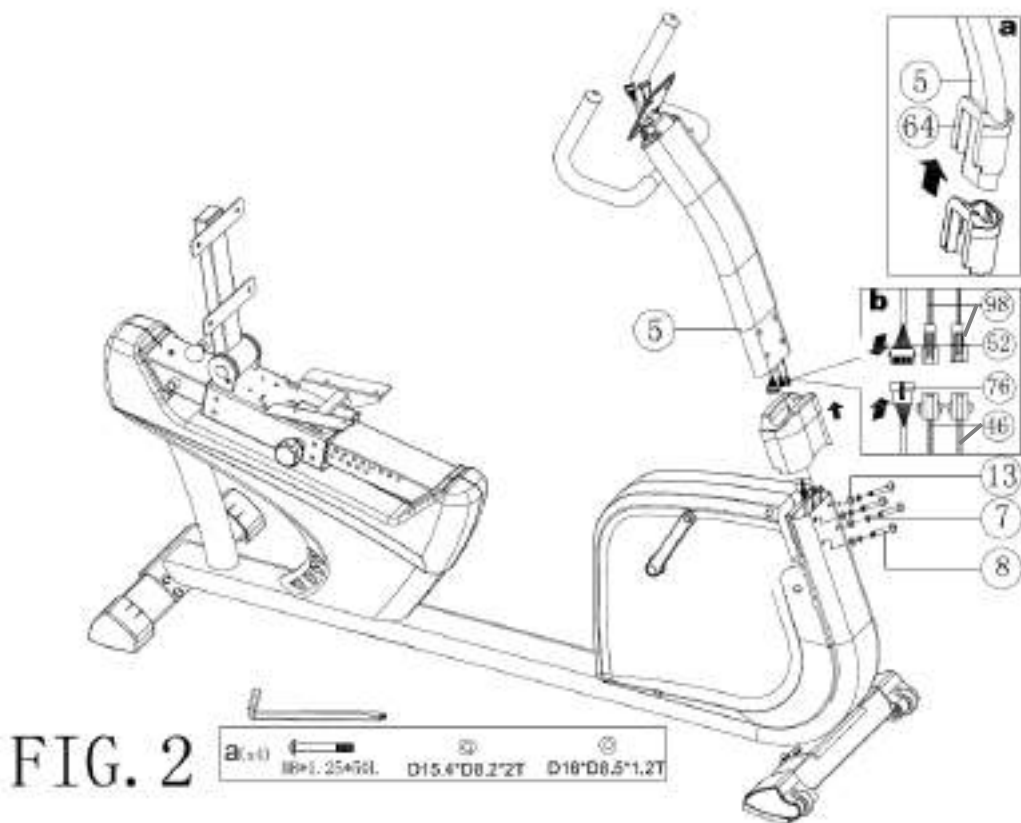
床面保護用シート等を敷いてから組み立てを行なってください。
床面に傷やよごれが付くのを防止します。

ステップ1. フロントベースフレームとリアベースフレームの組み立て



- (1) カートンボックスから全ての部品を取り出して、床においてください。
- (2) 部品パックの FIG1 にあるものだけを開封します。
- (3) リアベースフレーム(2)を持ちながら、上図のように平ワッシャー(13)、スプリングワッシャー(7)とボルト(9)を本体のブラケット穴に通して、フロントベースフレームに仮止めします。全て仮止めができれば最後に六角レンチでしっかりと本締めします。
- (4) フロントベースフレーム(3)も上記(C)と同じ方法で組み立ててください。
- (5) 写真 a の角度調整ピン(37)を、引っ張り背シート取付け用ベース(75)を、起こします。
その後、写真 b のようにボルト(61)を取付けてください。

ステップ2. ハンドルポストの組み立て



- (1) 上図 a のようにハンドルポスト用カバー(64)を切り込みのある側を下向きにして、ハンドルポスト(5)の下から上にはめていきます。
- (2) 上図 b のように、ハンドルポスト側(上)と本体側(下)の、それぞれのコネクターを接続します。
- (3) ハンドルポスト(5)を上図のように本体に差し込み、正面からワッシャー(13)とスプリングワッシャー(7)、ボルト(8)で仮止めします。
全て仮止めできたら最後に六角レンチでしっかりと本締めします。

<ご注意> ハンドルポスト(5)を本体に差しこむ際、コネクターやケーブルが挟まれないように、ご注意ください。

ステップ 4. サイドハンドルの組み立て

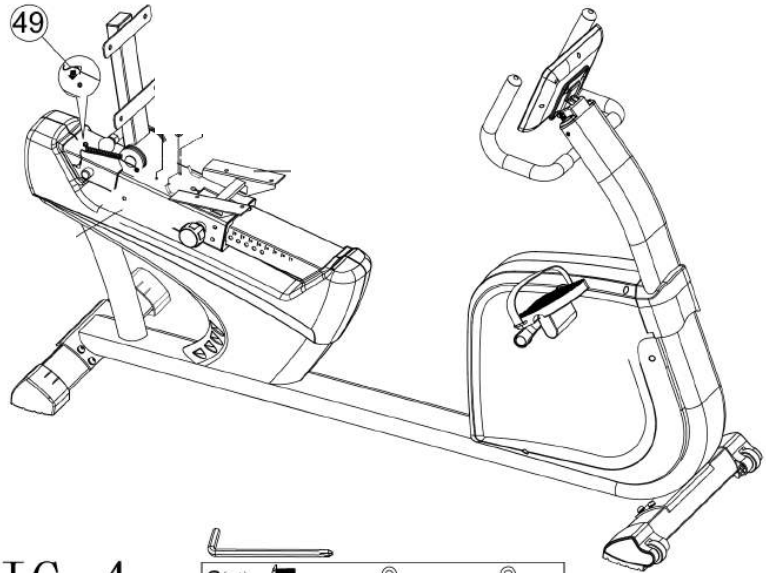
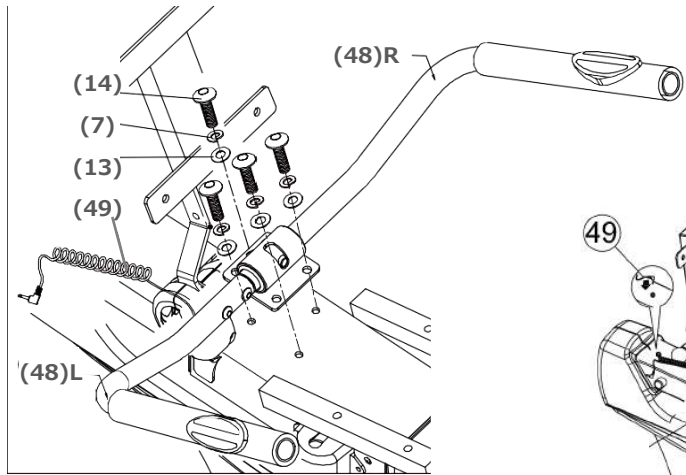
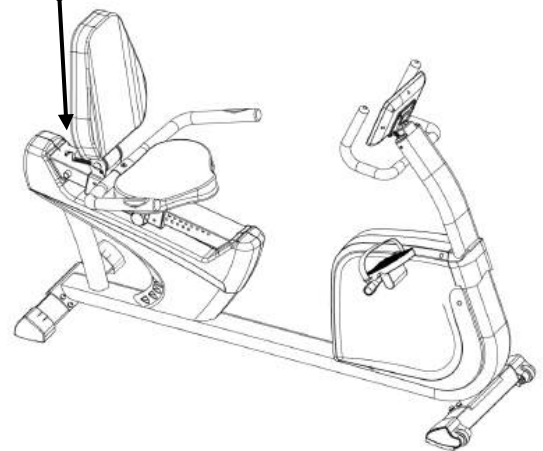
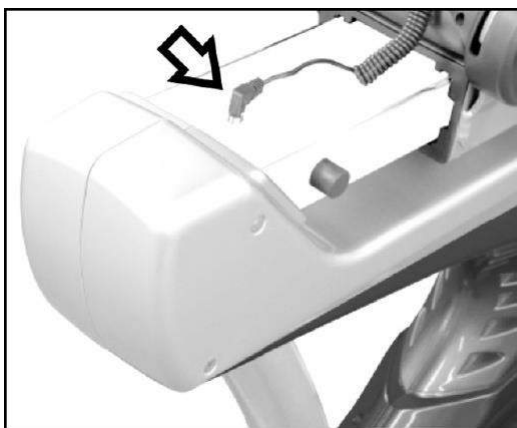


FIG. 4

- (1) 図のようにサイドハンドル及びブラケットを本体に取付けます。平ワッシャー(13)、スプリングワッシャー(7)、ボルト(14)を使い、サイドハンドルー式を本体に仮止めします。全てのボルトを仮止めしたら最後に六角レンチを使用して、しっかりと本締めします。



- (2) サイドハンドルから伸びているハンドルパルスケーブル(49)の先端を、本体後方にあるジャックに差し込みます。

ステップ5. 座シートと背シートの組み立て

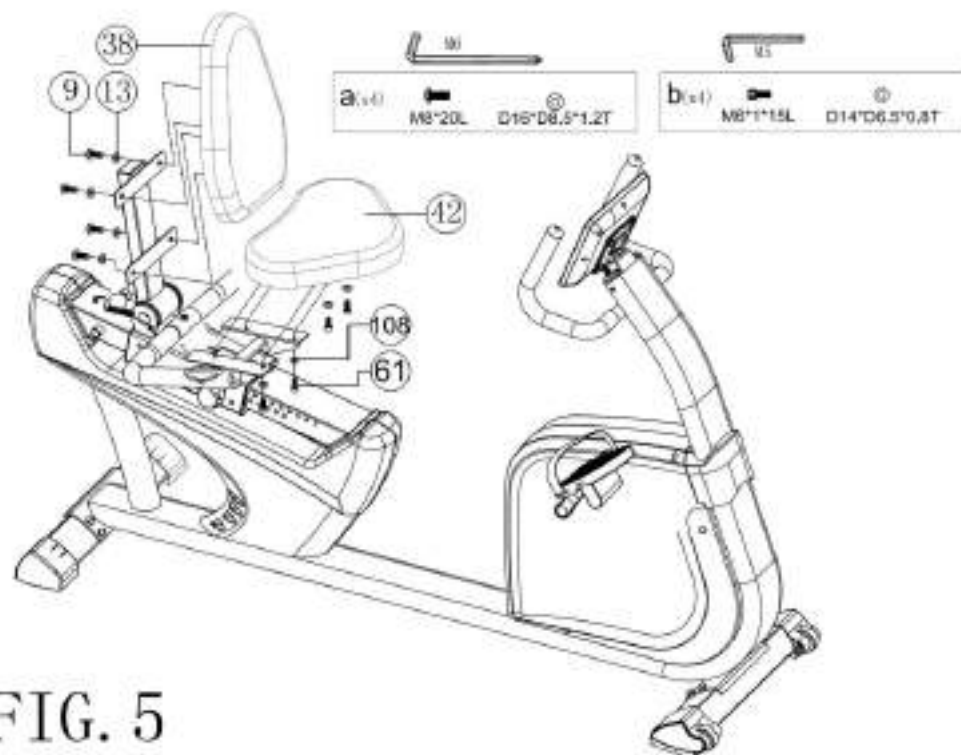
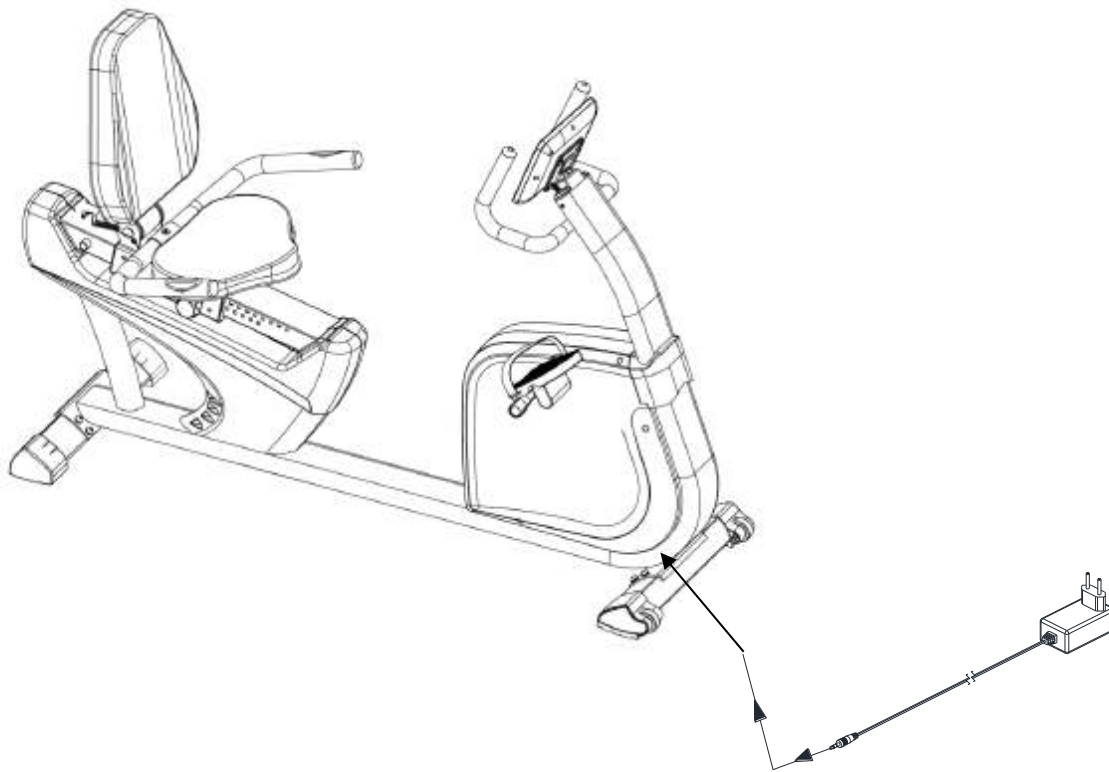


FIG. 5

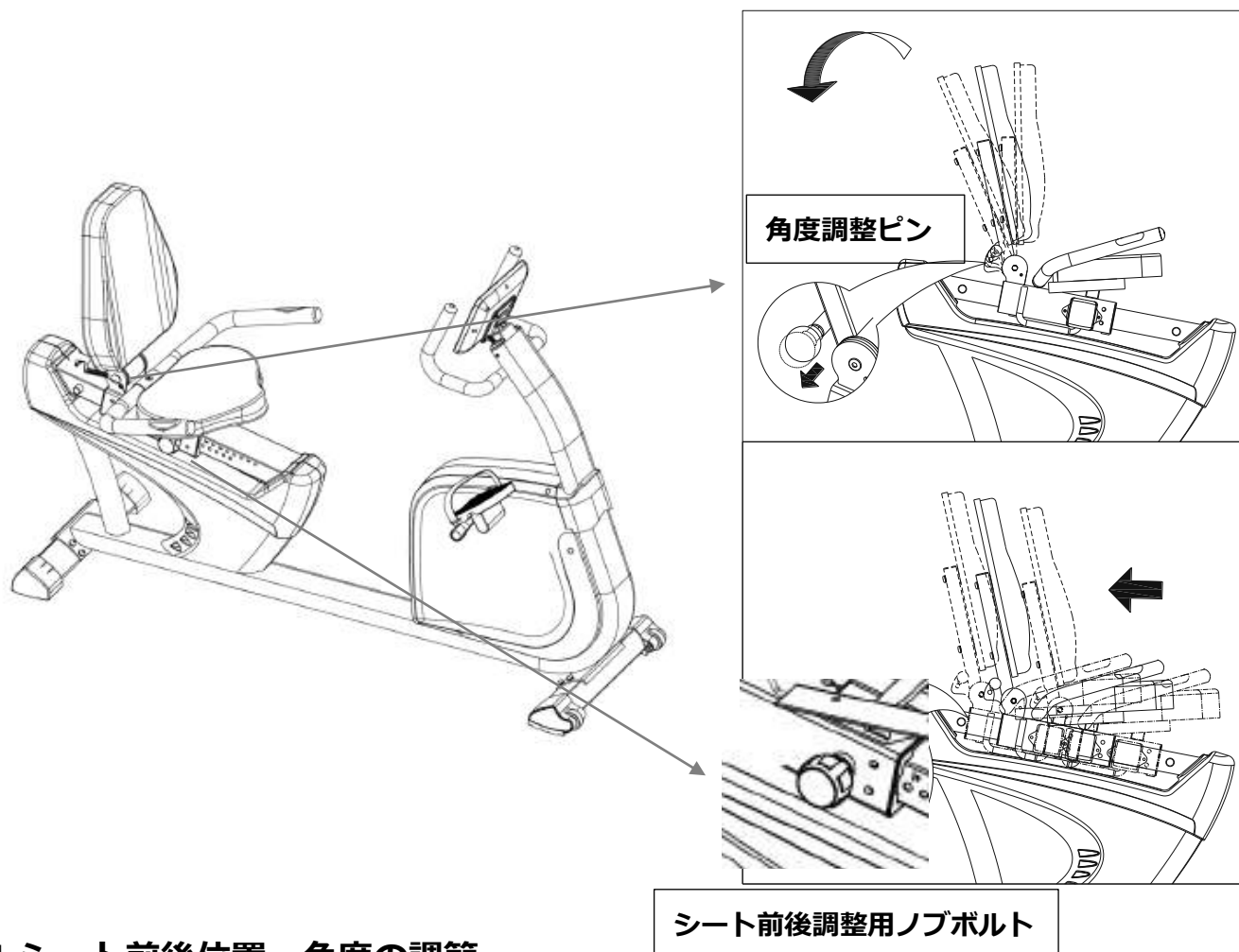
- (1) 上図のように、背シート(38)を背もたれとなるフレームに取り付けます。平ワッシャー(13)とボルト(9)を背シート(38)の裏にある穴に取り付けて仮止めします。全てのボルトを仮止めしたら最後に六角レンチでしっかりと本締めします。
- (2) 上図のように、座シート(42)を座面となるフレームに取り付けます。平ワッシャー(108)とボルト(61)を、下側から取付け穴を通し座シート(42)の裏側へ仮止めします。全てのボルトを仮止めしたら最後に六角レンチでしっかりと本締めします。

ステップ6. ACアダプターの接続方法



- (1) 本体前方にある電源ジャックにAC電源アダプターを接続し、コンセントにAC電源アダプターを接続してください。

各部の調節方法



1.シート前後位置、角度の調節

(1) 角度調整は 3 段階となります。

お好みの角度に調整してください。

(2) シートの前後調整は 12 段階となります。

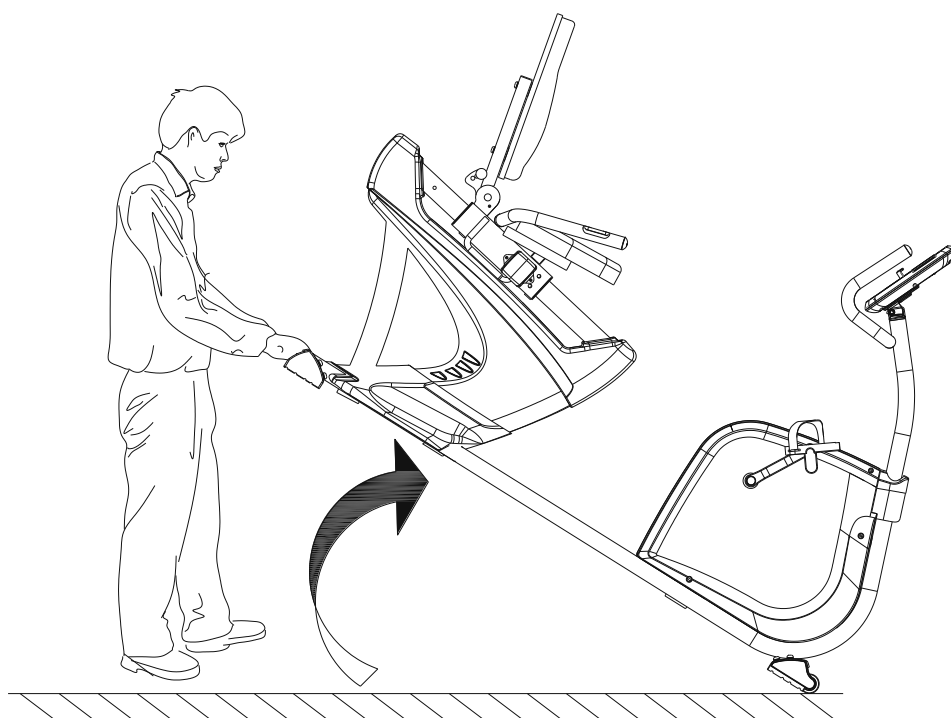
シート前後調整用ノブボルトを緩めて引っ張りながら前後調整して下さい。

調整完了後は、ノブボルトをしっかり締め付けて下さい。

各部の調節方法

2. 本体の移動方法

フロントベースフレームの前方に移動用のキャスターが付いています。本体を移動しようとする際、前方のキャスターが完全に接地するまでリアベースフレームを両手で持ち上げてください。



メーターパネルの基本操作

「主表示」 時間、メニューなどの情報を表示します。
「SPEED/速度」 ペダルを漕いでいる速度を表示します。
「TIME/時間」 運動時間をカウントアップまたはカウントダウンで表示します。
「補助表示」 負荷やプログラム、メニューなどを表示します。
「DISTANCE/距離」 運動距離をカウントアップまたはカウントダウンで表示します。
「CALORIES/カロリー」 消費したカロリーをカウントアップまたはカウントダウン表示します。
「PULSE/心拍数」 運動中の心拍数を表示します。
「WATT」 WATT 数を表示します。
【体脂肪】 体脂肪率を知りたいときに使用します。※体重を入力する必要があります。
【リカバリー】 プログラム終了時に心肺回復機能の検査を行う事が出来ます。
【リセット】 初期画面に戻るときや、設定をクリアするときに使用します。
【スタート/ストップ】 トレーニングを始める時、または終了するときに使用します。
【モード】 入力した値を決定するときや、モードやメニュー選択をするときに使用します。
【上がる/下がる】 プログラム選択やメニュー操作をおこなったり、運動中にペダルの負荷を調節するとき、時間・距離・消費カロリー・目標心拍数などの目標設定を行うときに使用します。

補助表示の解説

マニュアル プログラム1 プログラム2 プログラム3 プログラム4 プログラム5 プログラム6 プログラム7
 プログラム8 プログラム9 プログラム10 プログラム11 プログラム12 ハートレート ワットコントロール ユーザープログラム

本機は下記合計5種類のプログラムを搭載しています。

スタンバイ画面で**上がる/下がる**を押すと、これら5つのプログラムを選択することができます。選択したプログラムを実行するには、**モード**を、押してください。

メーターパネルの基本操作

電源をオンにする

電源を入れるとビープ音が鳴り、ディスプレイが点灯します。電源は次の3つの方法でオンにすることができます。

- (1) **電源を接続する**
- (2) **ペダルを漕ぐ**
- (3) **メーターパネルのいずれかのボタンを押す** ビープ音が鳴り止むと、**ユーザー選択画面**が表示されます。

上がる／下がるを押して**ユーザー1 (U1)～ユーザー4 (U4)**のいずれかを選択し、**モード**を押して決定してください。すると**スタンバイ画面**が表示されます。

ユーザー設定

本機には、適切な運動のために体重や性別などのユーザー情報を合計4人分まで登録することができます。

ユーザーを選択するには、**電源投入直後のユーザー選択画面**で**上がる／下がる**を、押します。

ユーザー1(U1) ～ ユーザー4(U4)のうちから、お好みの番号を選び、**モード**を、押してください。

性別 (SEX)、年齢 (AGE)、身長 (HEIGHT)、体重 (WEIGHT)を順番に入力するように促されますので**上がる／下がる**で値を選択し**モード**を押して決定してください。

全ての値を入力すると**スタンバイ画面**が表示されます。

※ **ユーザー選択画面**のまま**スタート/ストップ**を押すと、即座に運動を開始できます

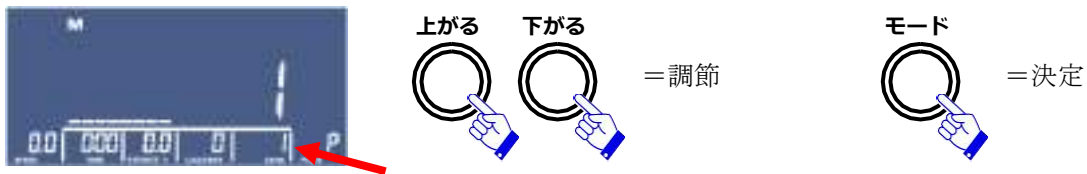
マニュアルモード

マニュアルモードでトレーニングを行う

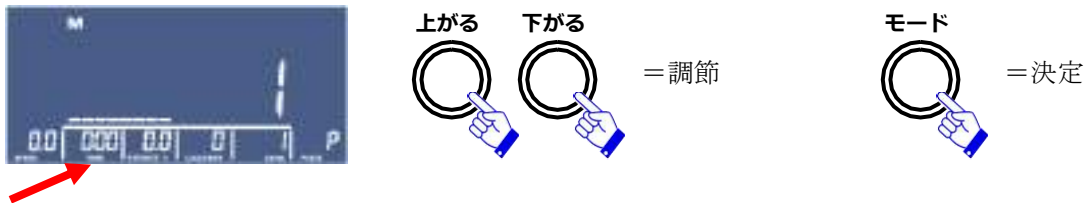
マニュアルモードは、運動中随時、自分で負荷を調節しながらトレーニングを行う手動モードです。トレーニングに慣れた方や、設定が面倒な方にお勧めです。目標設定も可能です。

- (1) スタンバイ画面で**上がる/下がる**を押し、**マニュアル(M)**を画面に表示させてから、**モード**を押します。
すぐに運動開始したい場合は**モード**を押してください。

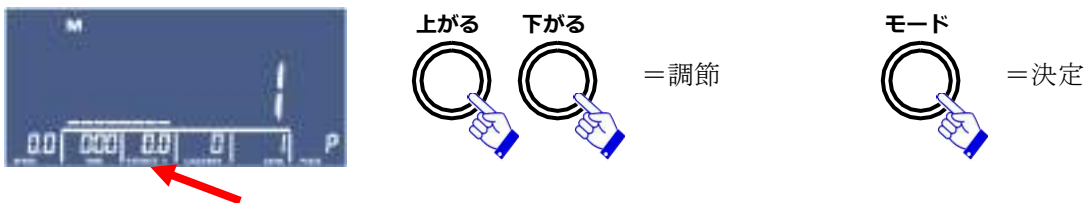
- (2) 負荷レベルを、**上がる/下がる**で調節し**モード**を押します。



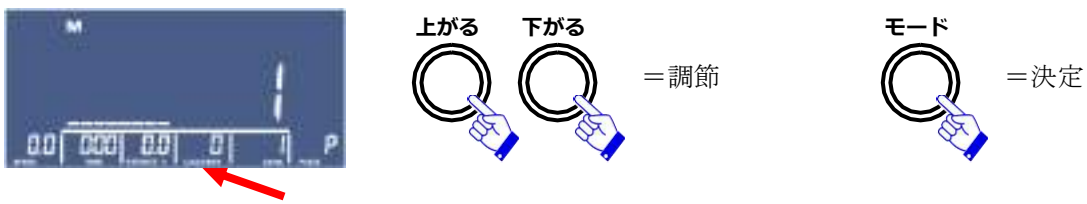
- (3) 運動する時間を、**上がる/下がる**で調節し**モード**を押します。



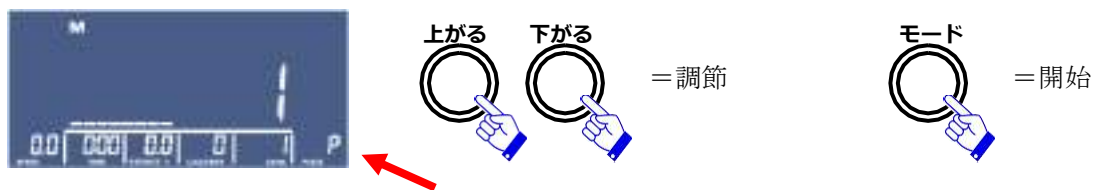
- (4) 運動する距離を、**上がる/下がる**で調節し**モード**を押します。



- (5) 消費したいカロリーを、**上がる/下がる**で調節し**モード**を押します。



- (6) 目標心拍数を、**上がる/下がる**で調節し**モード**を押します。



- (7) **スタート/ストップ**を押すとカウントダウン音と共にマニュアルプログラムが、スタートします。

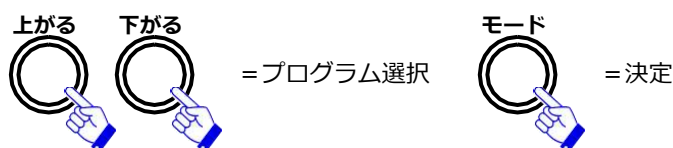
プログラムモード／ユーザープログラムモード

負荷プログラムでトレーニングを行う

プログラムモードは、時間が経過するにつれて負荷が変化する自動モードです。

※本製品に搭載されておりますプログラムは医学的根拠や運動力学等を基に作成された物では御座いませんので、介護施設様やフィットネス施設様でご使用になられます場合は指導者様（PT 様、インストラクター様等）がマニュアルモードにてご利用者様の体調に応じて運動時間や付加を調整して頂く事を推奨しております

- (1) スタンバイ画面で**上がる／下がる**を押して**プログラムモード**を選択し**モード**を押します。



※マニュアルプログラムと同じく目標設定を行なって頂く事も可能です。

ユーザープログラムでトレーニングを行う

ユーザープログラムモードは、時間が経過するにつれて変化する負荷を自身で組み合わせることができるモードです。1 2種類の標準搭載プログラム以外のお好みのプログラムを作成することができます。

- (1) スタンバイ画面※で**上がる／下がる**ボタンを押して**ユーザープログラムモード (USER)**を選択し**モード**ボタンを押します。
- (2) 負荷グラフが画面に表示され、負荷グラフが点滅しているのを確認し、**上がる／下がる**を押して、選択中の列をお好みの負荷に調節し**モード**を押して次の列の編集へ移ります。

編集したプログラムを保存するには、**モード**を**2秒間長押し**してください。
選択したユーザープログラムで運動を行うには、**スタート/ストップ**を押します。ユーザープログラムで目標設定を行う場合は、一度ユーザープログラムで運動をスタートしてから**スタート/ストップ**で運動を一時停止してください。すると時間が点滅していますので**上がる／下がる**ボタンで調節、**モード**で決定できます。距離などの他の目標設定も同様の手順で行なってください。

ハートレート／ワットコントロール測定

ハートレートコントロールプログラムでトレーニングを行う

- (1) **【ご注意】この機能を使用するためには、年齢・性別・身長・体重などの使用者情報を本機にセットしておく必要があります。**
- (2) **スタンバイ画面※で上がる／下がるを押してハートレートコントロール(H.R.C)を選択しモードを押します。**
- (3) **次に、目標心拍数を選択します。**

目標心拍数は、年齢毎の最大心拍数から自動設定されます。最大心拍数の何%で運動を行うか以下から上がる／下がるで選択します。

55%	=	最大心拍数の55%で運動する。
75%	=	最大心拍数の75%で運動する。
90%	=	最大心拍数の90%で運動する。
TARGET	=	目標心拍数を手入力する。

- (4) **スタート/ストップ**を押して運動を開始します。

ワットコントロールプログラムでトレーニングを行う

ワットコントロールは、時間あたりの運動量を常に一定に保つプログラムです。具体的には、ペダルを漕ぐのが遅い場合→負荷を強く、ペダルを漕ぐのが早い→負荷を弱くして、身体に掛かる運動量を一定にします。ワット数を管理しながらの運動は身体機能の訓練等に有効です。

- (1) **【ご注意】この機能を使用するためには、年齢・性別・身長・体重などの使用者情報を本機にセットしておく必要があります。**
- (2) **スタンバイ画面※で上がる／下がるを押してワットコントロールモード(WATT)を選択しモードを押します。**
- (3) 数字が点滅しWATTで運動を行う事を示しています。 **上がる／下がる**を押してお好みのWATT数を10～350の間で調節してください。
- (4) **スタート/ストップボタン**を押すと運動を開始します。

WATT は運動量の事を指します。運動量が同じでも、軽い運動をたくさん行う方法と激しい運動を少しだけ行う方法があります。ワットコントロールとは、その運動量を一定に保ってエクササイズする方法です。ペダルを早く漕ぐと負荷が軽くなり、ペダルをゆっくり漕ぐと高い負荷が掛かります。一般的な成人の場合では60ワット～80ワットの運動を行うことがエクササイズには適しています。

体脂肪測定

体脂肪測定を行う

- (1) 【ご注意】この機能を使用するためには、年齢・性別・身長・体重などの使用者情報を本機にセットしておく必要があります。
- (2) スタンバイ画面※または運動ストップ状態で、**体脂肪**を押します。
- (3) 体脂肪測定にはおよそ8秒間かかります。この間、グリップセンサーの脈拍センサーをしっかりと身体に密着させて計測終了までお待ちください。
- (4) 体脂肪測定が終了すると、液晶モニターに体脂肪目安シンボル、体脂肪率、BMI,BMR が表示されます。

表示される値の意味

BMI:

LOW = BMI20 未満, LOW/MED=20.1 から 24, MEDIUM=24.1 から 26.5,
HIGH=26.5 超

体脂肪率シンボル:

- = 痩せている (男性:13%未満 / 女性:23%)
- + = やや痩せている (男性:13%~25.9% / 女性:23%~35.9%)
- ▲ = 標準 (男性:26%~30% / 女性:36%~40%)
- ◆ = 体脂肪率が高い (男性:30%超 / 女性:40%超)

※この機能を使用するには、ユーザー設定で体重や性別を入力しておく必要があります。

リカバリー測定

リカバリー測定を行う

心肺回復力測定リカバリー測定とはエクササイズで上昇した心拍数が1分間でどれほど平常値に近づくかを評価するものです。

- (1) **【ご注意】この機能を使用するためには、年齢・性別・身長・体重などの使用者情報を本機にセットしておく必要があります。**
- (2)リカバリー測定を行うためには、運動を行なって心拍数が上がっている必要があります。お好みのプログラムで運動を行なってください。
- (3)リカバリー測定を行うには、運動中のモードで**スタート/ストップ**を押し、一時停止状態にします。
- (4)**リカバリーボタン**を押してください。
リカバリー測定が始まります。

検査に掛かる時間はおよそ60秒間です。その間は必ずハンドルの脈拍センサーを握り、ペダルを漕ぐのをやめて呼吸を整えながらお待ちください。

検査が終了すると、「ピピッ」という音と共に検査結果が画面に表示されます。検査結果に表示されるデータの値とその内容は下記リストをご覧ください。

- F 1 = 素晴らしい心拍機能です。
- F 2 = 優秀な心拍機能です。
- F 3 = 良好です。
- F 4 = 平均的な心拍機能です。
- F 5 = 平均を下回っています。
- F 6 = 心拍機能が弱い。

リカバリー（心拍回復能力）とは一定時間内の心拍数の回復の度合いを測る機能のことを指し、あなたの心拍機能の強さの指標となります。

日々、運動後にこのデータをチェックしてエクササイズによってどれほど心拍機能が向上しているかのチェックにご活用ください。

メーターパネルの表示値について

メーターに表示される各値について説明致します。

時間 (TIME):

運動した時間を示します。

運動時間の目標設定を行った場合、この時間は目標時間からカウントダウン表示されます。

目標時間は 1:00 ~ 95:00 の間で設定可能です。

目標設定をおこなっていない場合、運動した時間をカウントアップ表示します。

表示範囲は 0:00 ~ 99:00 です。

速度 (SPEED):

運動中のペダルを漕ぐスピードを目安として画面に表示します。

表示範囲は 0.0km/h ~ 99.9km/h です。

回転数 (RPM):

1 分間あたり何回クランク・ペダル軸を回転させるペースで漕いでいるかを表示します。

距離 (DISTANCE):

運動した距離を表示します。

目標設定を行った場合、目標距離からカウントダウン表示されます。目

標距離は 99.90km までの間で設定可能です。

目標設定をおこなっていない場合、運動した距離をカウントアップ表示します。

表示範囲は 0.00km ~ 99.90km、値は 0.1 ずつ変化します。

消費カロリー (CALORIES):

消費したカロリーを表示します。

目標設定を行った場合、目標消費カロリーからカウントダウン表示します。目標消費カロリーは 10cal ~ 990cal の間で設定できます。

目標設定をおこなっていない場合、消費したカロリーをカウントアップ表示します。表示範囲は 0cal ~ 990cal、値は 1cal ずつ変化します。

脈拍数 (PULSE):

使用している方の脈拍数を表示します。

脈拍数を画面に表示させるには、常に脈拍センサーに触れている必要があります。脈拍が表示されるまでセンサーを触ったままお待ちください。

※センサーにタッチしてから脈拍が検出されるまで数秒の時間がかかります。

運動量 (WATT):

現在運動中の WATT 数が表示されます。

スリープモード

4 分間操作をせずに本機を放置しておくと、スリープモードになります。スリープモードから復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

トラブルシューティング

- ご使用中に異常が発生した場合は、下記の点をチェックしてください。
- それでもトラブルが解消されない場合は弊社までご連絡ください。

組み立てできない	<ul style="list-style-type: none"> ●各ネジは工程ごとに全て仮止めを資、しっかりと本締めしてください。1本ずつ本締めしてしまうとネジが入らなくなる恐れがあります。 ●左ペダルは逆ネジです。右ペダルは右回し、左ペダルは左回しに締めてください。 ●ペダルストラップが固く取付けられない場合、ドライヤーやお湯などで温め柔らかくすると取り付けやすくなります。
ガタツキがある	<ul style="list-style-type: none"> ●各接続部にガタツキがある場合は、使用ボルトを確認してから増し締めを行ってください。 ●本体にガタツキがある場合は、リアベースフレーム裏のアジャスターで高さを調節してください。
メーター電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●AC電源アダプターが正しく接続されているか・断線していないかを確認してください。 ●フレーム内の本体とメーターパネルを繋ぐ配線が確実に接続されているか確認してください。 ●電源コンセントの仕様が適切（家庭用電源 100V 50/60Hz）であるか確認してください。 ●たこ足配線はおやめください。
メーター電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機に電源をオフにするボタンはありません。電源をオフするには、オートパワーオフ機能をご利用ください。マシンをストップ状態にして4分間放置すると自動的に電源がオフになります。 ●ボタンや何かで押されていないか、ペダルやハンドルが動いていないか確認してください。
シートが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●組立直後の場合、シートサイドハンドルを止めるネジが間違っていないかを確認してください。間違った長いネジを使っている場合、シートが引っ掛かり動かなくなります。 ●前後の止めゴムが外れて巻き込まれていないか確認してください。巻き込まれていれば取り除いてください。
シートが固定できない	<ul style="list-style-type: none"> ●シートロック部に破損が無いか確認してください。
負荷が重いまま変わらない 負荷が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルを取り外し、再起動してください。 ●メーターパネルの負荷数値を上げモーター作動音が本体から聞こえるか確認してください。 ●メーターパネルの負荷数値、1の負荷と10の負荷でペダルを回し、負荷に変化があるかを再確認してください。
脈拍が測定できない 異常な脈拍数が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●脈拍測定部、イヤースセンサーの場合、受光部を清掃してください。 ●メーターパネルを取り外し、脈拍センサーケーブルの断線が無いか確認してください。 ●脈拍測定部をしっかりと握ってください。 ●ハンドル後方の脈拍センサーケーブルがジャックにしっかりと刺さっているか確認してください。 ●センサージャック差し込み口が緩んでいないか確認してください。 ●受光部に光が当たったり、他のものに触れないようにしてください。 ●ハンドルパルスセンサーとイヤースセンサーを同時に使用しないでください。
運動中に異音がる ペダルが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●可動部に異物が挟まっていないかを確認してください。 ●可動部が破損していないかを確認してください。 ●各部品が正しく固定されているかを確認してください。 ●潤滑油が切れて異音が鳴っている場合は、市販のシリコンスプレーを可動部へ適度に注油してください。 ●ペダル部から異音がる場合、ペダル、クランクの増し締めを行ってください。 ●本体内部より異音がる場合、内部不良が考えられます。品質管理センターへご連絡ください。 <p>※アルコールが含まれる溶剤やCRCスプレーなどは使用しないでください。内部の樹脂部品が劣化したり、油分が洗い流され油切れやさびの原因になり悪化します。</p>
距離、速度、カロリーがカウントされない	<ul style="list-style-type: none"> ●約4、5分間使用してもカウントされないかを確認してください。 ●カウントされない場合は本体内部センサーの故障が考えられます。その場合はお手数ですが弊社までご連絡ください。
途中で初期画面に戻る	<ul style="list-style-type: none"> ●時間、距離、カロリー、複数の目標設定を行っていないかを確認してください。 ●複数の設定をした場合、いずれかの目標が達成されれば達成音とともに終了します。 ●設定解除を行ってください。設定を行っているか不明な場合、電源アダプタを抜き再起動してください。
使用中に突然画面がオフになる	<ul style="list-style-type: none"> ●内部の回転センサーが故障し、運動していることを検知できていません。 <p>→回転センサーの修理/交換が必要になります。恐れ入りますが弊社までご連絡ください。</p>
エラー1 (E1)が表示される	<p>本機が、使用者の方の身体情報を検知できないときに発生するエラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体脂肪測定中やリカバリー測定するときは、左右のグリップセンサーをしっかりと握り、測定中はセンサーから手を放らないようにしてください。
エラー2 (E2)が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●AC電源アダプターを抜き再起動してください。 ●メーターパネル、ハンドルポストを取り外し、全ての配線コネクタを確実に繋ぎ治してください。 ●改善しない場合、配線、モーターの故障が考えられます。この場合、お手数ですが弊社までご連絡ください。
エラー4 (E4)が表示される	<p>ユーザー設定で設定した値から、体脂肪率やリカバリー測定を行おうとした際に、結果数値が評価の範囲外になってしまったときに発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再度ユーザー設定を行い、入力した値が間違っていないかを確認し修正してください。

保証

〈無料保証規定〉

- 1、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。
- 2、保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び弊社以外での修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本書のご添付がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
- 3、本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 4、本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。
- 5、お客様にご記入いただいた個人情報（保証書）は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 6、この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束する物です。
- 7、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 8、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社ご相談窓口にお問合せください。
- 9、保証期間経過後の修理やご相談は取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

ナツキインターナショナル株式会社
〒633-2102 奈良県宇陀市大宇陀平尾172番地の1

アフターサービスについて

保証とアフターサービスのご案内

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

○保証期間中は、保証書の規定に従ってメーカーが修理させていただきますので、おそれいりますが、保証書の保管を宜しくお願い致します。

※この場合、修理料金、運送料を無償とし、その他にかかった費用は、お客様の負担となります。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、ベルト等の消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

○保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料：診断・修理・調整・点検などの費用

部品代：部品および補助材料代

○使いかた・お手入れなどのご相談は…

○修理に関するご相談は…

ナツキインターナショナル株式会社お客様ご相談窓口 受付時間(平日9時～17時)

電 話 0745-96-9800

FAX 0745-96-9801

ご不明な点やお困りの際は、お気軽にお問い合わせください。

※ご使用の回線（IP電話、ひかり電話）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

保 証 書			
品番	SFR-40		
保証期間	本体1年間		
お買い上げ日	年 月 日		
	お客様		販売店
ご住所		住所	
お名前		販売店名	
電 話		電 話	

ナツキインターナショナル株式会社

〒633-2102 奈良県宇陀市大宇陀平尾172番地の1